



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1053 2016 年 12 月 5 日

ARIBからのお知らせ

「電波産業年鑑 2016」を発行

11 月 30 日に「電波産業年鑑 2016」を発行しました。

当会では、通信・放送分野における電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の健全な進歩発展を図る観点から、電波の利用に関する調査、研究、開発、コンサルティング等を行っています。

この一環として、電波産業の実態を的確に把握できるよう情報を関係者に提供し電波への理解の促進を図るとともに、通信・放送事業における事業計画の立案等に役立てることを目的に、電波産業年鑑を毎年発行しています。

会員の皆様には既にお送りしましたが、希望される方には、実費(2,500 円、税込み、送料別)で頒布しておりますので、是非追加での購入・活用をご検討いただき、当会 Web サイト内「ARIB 頒布図書」のページ

<http://www.arib.or.jp/kikakugaiyou/hanpu/report.html>

からお申込みください。

1 一年の動向が容易に理解できる構成

第 1 章では 2015 年度に電波産業界で特に関心を集めたトピックスを 6 項目取り上げ、その概要を専門家の立場から記述いただき、第 2 章では「電波産業の事業動向」、第 3 章では「電波産業の技術動向」、第 4 章では「情報通信行政の動向」、第 5 章では「標準化機関・会議の動向」及び第 6 章では「ARIB の活動」について、それぞれ 2015 年度の主な動きを記述しました。

また 2016 年版では一層の利便を図り、従来 CD-ROM 版にのみ収録されていた「便覧」の抜粋（大きな図表等を除く）を、本誌にも掲載しております。



2 「電波産業年鑑 2016」の目次構成

第1章 2015年度の動き

1 4K・8K 放送の動向.....	2
2 V-Low マルチメディア放送.....	4
3 第5世代移動通信システム（5G）の検討状況.....	6
4 携帯電話システムの最新動向.....	12
5 ITS（高度道路交通システム）の動向.....	15
6 ウェアラブル端末の動向.....	21
付録 2015年度の動向一覧.....	24

第2章 電波産業の事業動向

1 電気通信事業.....	30
2 放送事業.....	63
3 無線機器製造業.....	76

第3章 電波産業の技術動向

1 移動／固定通信分野.....	84
2 放送分野.....	108
3 小電力無線分野.....	117
4 電波環境に関する技術.....	127
5 新しい電波利用分野.....	147
付録 2015年度の電波産業の技術動向.....	159

第4章 情報通信行政の動向

1 我が国の情報通信行政の動向.....	162
2 海外の情報通信政策の動向.....	195
3 国際政策の動向.....	200

第5章 標準化機関・会議の動向

1 国際電気通信連合（ITU）.....	203
2 アジア・太平洋電気通信共同体（APT）.....	217
3 3GPP/3GPP2.....	223
4 oneM2M.....	227
5 IEEE 802 委員会.....	230
6 XGP フォーラム.....	234
7 ITS 世界会議.....	237
8 世界電気通信標準化協調会議（GSC）.....	239
9 日中韓情報通信標準化会議（CJK）.....	241
10 海外標準化機関等との連携.....	244

第6章 ARIB の活動

1 一般社団法人電波産業会の概要.....	249
2 2015 年度の主な動き.....	255
3 活動概要.....	262
4 ARIB 標準規格・技術資料・頒布図書.....	281

巻末

用語解説.....	295
略語集.....	302
索引.....	307

2016 電波産業調査統計（抜粋）

1 国内産業規模の推移.....	A-1
2 海外産業規模の推移.....	A-31

便覧（抜粋）

1 電波利用の歴史.....	B-1
2 電波の利用状況.....	B-11
3 放送局とネットワーク.....	B-13
4 無線局機器に関する基準認証制度.....	B-19
5 周波数割当表.....	B-20

3 付属 CD-ROM



CD-ROM のレーベル



CD-ROM のトップメニュー

トップメニューの各項目をクリックすると、該当 PDF 文書がご覧いただけます。また、「利用手引」、「語句検索機能（Adobe Reader をご利用の場合）」をご活用いただけます。

日ボツワナ共同作業部会 第5回会合の結果について

日ボツワナ共同作業部会 第5回会合が開催されました。

1 日程：

平成28年11月24日（木）

2 場所：

ボツワナ大統領府放送サービス局（DBS）会議室

3 出席者：

（ボツワナ側）

カボヤモディモ DBS 副次官はじめ DBS、運輸通信省（MTC）、ボツワナ通信規制庁（BOCRA）

（日本側）

尾西特命全権大使をはじめ在ボツワナ日本国大使館、高木情報通信国際戦略局次長をはじめ総務省、JICA ボツワナ事務所、日立国際電気をはじめ日本企業5社、ARIB 本間研究開発本部次長 他

4 概要：

ボツワナ共和国は、2013年2月にアフリカ地域において初めて地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）の採用を表明した国であり、同国における ISDB-T の導入に関する諸課題について検討を行うため、日本・ボツワナ両国政府主催により持ち回りで共同作業部会を開催しています。また、ARIB のデジタル放送普及活動作業班（DiBEG）も同国における技術支援の観点からこれに参加しています。

今回の会合では、日本側より、ボツワナ側の関心事項に基づき、ブラジルをはじめとした中南米諸国におけるアナログ停波に関する取組状況や低所得者層向けの政府による STB（Set Top Box）補助事業等について情報提供を行うとともに、日本メーカーよりボツワナ向けの STB やスマートフォン用チューナー等の試作機のデモンストレーションを行いました。また、日本政府より、ボツワナにおけるアナログ停波の計画策定に関する支援、日本メーカーより、ボツワナ政府が低所得者層向けの補助事業を実施する場合の製造受託について、それぞれ表明を行いました。

一方、ボツワナ側より、現在は国営放送が既にデジタル放送を開始しており、商業放送事業者についても免許条件を検討中で近く制度整備が行われる予定であること、多くの世帯が衛星放送を受信しており、地上デジタル放送の受信世帯を増やすためにローカルコンテンツの充実に取り組んでいること、ボツワナの市場が小さいために同国向け受信機を製造するメーカーがまだ限られていること、STB の普及等について日本からの支援を期待していること等について説明がありました。

また、次回会合は来年 2 月を目途に日本で開催する方向で、両国間で調整を行うこととなりました。



共同作業部会の模様

今週の ARIB 内会合（12 月 5 日～12 月 9 日）

- 12 月 5 日（月）：スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班
- 12 月 6 日（火）：電磁環境委員会 第 16 回委託研究 WG
- 12 月 7 日（水）：スタジオ設備開発部会 デジタル字幕制作検討作業班
- 12 月 7 日（水）：素材伝送開発部会 素材伝送用 HEVC コーデック評価 JTG
- 12 月 9 日（金）：第 102 回規格会議

今週の国際会合（12 月 5 日～12 月 9 日）

参加を予定している会合はありません。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp